

当院における胃ろう患者での経口移行・併用例の検討

みえ医療福祉生協 津生協病院 NST 薬剤師 堀内美佳

内科)宮崎智徳 管理栄養士)猪田秀子 言語聴覚士)小川貢 スタッフ

目的) 当院でPEG (経皮内視鏡的胃ろう造設術) 施行症例での経口移行・併用例について検討したので報告する。

方法) 2003年4月より2011年3月までの期間に、当院でPEG造設した全症例及び経口摂取への移行・併用例について背景・経過など調査した。

結果) 調査期間中のPEG造設例は260例で、年齢は49歳から102歳まで平均: 83.3歳、各年度での造設例は、年平均: 32.5件であった。経口摂取移行例は17例(6.5%)、併用例46例(17.7%) 平均年齢79.2歳(49~96) 客観的嚥下評価: 28例、考察) 経口移行・併用例での特徴的要素特定は困難。安全性確保しながら客観的評価を基に摂食・嚥下リハビリテーション追求。唾液誤嚥・誤嚥性肺炎繰り返し例はより慎重な判断必要。